

風

Bブロック 全作品と講評

www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

隊形は乱れ

撃ち落とされそうになったが

攻撃は避けられたようだ

別に幸な人生では無かったけれど

特に思い残すことはない

風が止んだ

神よ、どうか家族をお守りください

風のパワー

みなさんは、北海道にある「風の館」という施設を知っているだろうか。私は生まれてから8年間を北海道で過ごし、その間、北海道中の至るところに家族に連れられて行った。有名な観光地はほぼ行き尽くしただろう。しかし、残念ながらそのほとんども覚えていない。子どもに美しい湖だの景色だのを見せても、何の記憶にも残らないものだ。いろいろな美しい景色の場所で気持ちいい風を浴びたことがあるのだろうが、「風」と聞いて思い出すのは、ただ、襟裳岬にある「風の館」で体験した強風のことだけ。

襟裳岬は風速10メートル以上の風の吹く日が、年間290日以上もあるという、日本屈指の強風地帯。そこにある風の館という施設を訪れたのは7歳のころ。風体験の「コーナー」では、風速25メートルの風を体験することが出来た。手すりにつかまらないうと立っていられず、真っ直ぐ前を見ることもできない、声も出ないくらいの強風だった。そこで何かおもしろいことが起きたわけではないけれど、すぐに記憶に残っている。風の力ってこんなにすごいのか、と初めて感じたからだろう。

風のパワーは絶大だ。自転車走っているときの向かい風、船に乗っているときの海風、ジェットコースターで叫びながら浴びる風。こんなに気持ちいいものはない。しかし、嵐のときの突風、急なビル風。これらは人を不快にさせる。風の館で体験したような風は、人に被害も与えうる。ときには心地よく、ときには激しく吹いて人の感情を左右する風のパワーは本当にすばらしいと思う。そんな風が、私は好きだ。

風つてさあ

風つていろいろある

つむじ風、竜巻、春一番・・・

空気の移動を風つていうのかなあ？

じゃあさあ

おならつて風なのか
なあ？

風が吹くと桶屋が儲かる

「なあ、なんで風が吹くと桶屋が儲かるんだ？」

「ああ、ことわざか。んー、まず風が吹くだろ。」

「それで砂埃が舞うんだよな、確か。」

「それで運転手たちの目に砂が入った。」

「すると事故が増えて警察の仕事が増えた。」

「で、凶悪事件の検挙率が下がったとき。」

「どんどんネットで警察の批判が溢れ出してきそうだな。」

「そんでまたバカな総理が警察の権力を強めたりして。」

「あまりの横暴に反乱が起きて内戦にまで発展！」

「あはは、ずいぶん大事になっちまったな。…さらには危険と思った隣国が核ミサイルを撃ち込んできて…」

「いくなんでもそれはないだろう。」

放課後の教室に二人の楽しい笑い声が響いた。

——風に吹かれて気の変わった独裁者が、ミサイルのボタンに手を伸ばす。

この年の棺桶はたいそう売れた。

いつの時代も、風が吹けば桶屋が儲かる。

人格の形成

風が吹いた。

空気のメモ用紙がとんでくる。

僕はそこに夢、哲学、ひらめきの欠片を書きつけた。

また風が吹いた。

空気のメモ用紙が僕の手を離れる。

それは瞬く間に流れ去り、かたちを失っていった。

僕は不思議と悲しくなかった。

空気は色を変えていた。

少年時代

夏休み

海で遊んでた子供が帰ってきた
家に入るとすぐに畳の上に寝そべる

とても暑いこの夏

暑くなったのか子供は立ち上がり
せんぷうきの前に行く

涼しい風を送ってくれるせんぷうき

助けを求めるかのように子供はスイッチを押す

せんぷうきが回り始めた

しかしくるのは子供が期待するものではなかった
それは涼しいには程遠い暑苦しい風だった

涼しい風がこない

子供はあきらめたのか再び寝そべった

そんなことも関係なく

せんぷうきはただ回っている。

風よ、吹け！

広がる海原 真っ青な海

目の前に広がるは 太平洋

前にも 後ろにも 目的地はない

自分を 変えたくて

ただ 自分を 変えたくて

無心に 帆を張った

何も 変わらないかもしれない

抜け出せないかもしれない

けれど

自分に 負けたくないから

あの 一瞬を 感じたいから

未来の自分に 笑ってほしいから

ただ、思う

風よ、吹け！

ある日の昼下がり

空を見た

雲が見えた

風に吹かれて形を変え
どこかへ流れて消えていく

空はキャンパス

雲は絵の具

上空を吹き抜ける風は

幼い僕にたくさんの絵を見せてくれた

大人になったつもりの中でも

空を見上げると

「寝転んでずっと眺めていたい。」

ふっとそんな気持ちになる

幼い僕が顔をのぞかせる

今日もまたベランダで一人

時間を忘れて空を眺めている

風の描く絵を眺めている

大人になんてなれそうもない

僕はまだ 風と友達のままだいいんだ

「かぜ」

「ただいま！　ねえねえ、おじいちゃんおじいちゃん！」

「おかえり。そんなに慌てて、どうしたんだい？」

「あのね、今日ね、学校で習ったんだけどね、これってなんて読むの？」

「うん？　ああ、これはね、『かぜ』って読むんだよ。」

「かぜ？　かぜって、あの、お鼻がムズムズするかぜ？」

「うん、そうだよ。頭がクラクラする、あのかぜだよ。」

「へえー。なんだかむずかしい字だね。どうしてこう書くの？」

「この字はね、『邪な風』って読んでね、つまり、僕らは悪い風のせいのかぜをひく、ということなんだよ。」

「ええ、風のせいなの！　びつくりだね！　じゃあさ、じゃあさ、おじいちゃんがずっと寝てたりさ、かみの毛がたくさん抜けちゃったりするのも、その悪い風のせいなの？」

「うーん、おじいちゃんの場合は、ちょっとお薬が苦すぎるから、かな。」

「おじいちゃん、そんなに苦いお薬飲んでるんだ……。あつ、そうだ！　おじいちゃん、アメをなめればいいんだよ！　そうすれば、もう苦くないでしょ？　ねっ」

「—————そうだね、アメをなめれば、おじいちゃん、元気になれるかもしれないね。もし、元気になったら、また一緒にどこかに遊びに行こうね。」

「本当！　ゼツタイだよ、ゼツタイ！　やくそくだよー！」

百面相

風の音ってひゅーひゅー

それともぴゅーぴゅー？

木の葉が風に吹かれるとカサカサ

それともさらさら？

カーテンだったらバタバタ

それともぱたぱた？

嵐で風が強いときはゴーゴー

それともびゅんびゅん？

風が服をかすめるときや

髪をなびかせているとき

森の木々のざわめきとか

風はいろいろな音に乗って表情を変える

あなたが今聞こえる風は、どんな顔をしている？

コイカゼ
恋風

春と夏の間の昼下がりに

疲れた生徒のいる授業中の教室に

優しい そよ風が通る

そしてわたしは

あまりの気持ちよさに惹かれて

風に 恋をする

もつと吹いてほしい

いつまでも吹いていてほしい

季節を超えて

優しく私を包み込むように

風の贈り物

風さんありがとう

あなたはいつも

そばの海から

潮の香りを届けてくれますね

風さんありがとう

あなたはいつも

遠くの家から

ピアノの旋律を運んでくれますね

そしてあなたは

動けない私のために

わたしの最愛の人までつれてきてくれた

そして今度は

動けない私に代わって

わたしの子供たちまで送り出してくれる

ああ…

たんぽぽにうまれて、

風さんに出会えて、

本当によかった

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	紙飛行機	4 pt	8 位	0 sp
		人生は紙飛行機だっ！ ちょっとムリヤリなたとえが、かえって青雲の志のすがすがしさに似つかわしくて、好印象。 起承転結、きれいに整えられた、とても折り目正しい飛んでいけ！表紙でした。		
A02	なんかきこえてくるわ	5 pt	7 位	1 sp
		うんわかるわかる。疑心暗鬼のその気持ち。あるよね～、そういうことって。 共感度大の状況を、ピュアに投げ込んで、インパクト大。 ご提供は短フレーズ名手として定着しそうな、かの「すきやき」さんでした。 特別賞：朗読しま賞（イントネーションが分からないので、お手本を見せてほしい） イチオシフレーズ：「なんかはながむずむずするわ」× 2		
A03	愛する君へ	0 pt	10 位	0 sp
		募る思いを風に託して、あたかも「千の風になって」♪		

		フォントともども、しっとり伝わってきます。 語りかける相手は亡き人なのでしょうか、それとも風そのもの？		
A04	偏西風	9 pt	5 位	0 sp
		偏西風もすてきだけれど、そんなへそ曲がり注目したへそ曲がり作者さんは、もっともっすてきです。 流されずに、がんばって偏ろうぜ！ メッセージとして読みました。		
A05	突風	15 pt	3 位	0 sp
		わはははは。とても、ここちよくダメされました。ブラボー。 波平さん、もはや国民的アイドルですね。ブロンズメダルともども、イチオシフリーズ大賞もお持ちくださいませ。おめでとう!! イチオシフリーズ：「唇は突風でバロバロ震えた」×3 「キュッポン。」 「フーグ田くん」×2		
A06	かぜ～ウインド	7 pt	6 位	6 sp
		地名で揃えた一発ワザ。 インパクトはあるけれど、レイアウトはもっときれいに組めそうです。 でも、この思い切りの良さが注目されて、最多特別賞タイでした、おめでとう。 特別賞：力技賞（そこまでウインドを使いたかったのか！？） アイディア賞 手抜きで賞（インド！） ウクライナ国民栄誉賞（大胆、ざ		

		んしん) てぬきで賞(ここまで堂々としているとインパクトあった) 上手く手を抜いたで賞(シンプル)		
A07	楓	16 pt	2 位	1 sp
		四季に託してゆったりと展開するメルヘンストーリー。 ひとこともセリフのない風のかみさまのシャイぶりが、奥ゆかしくって、かわいい！ その通りに奥ゆかしく 1 票差の銀メダルでした、おめでとう!! 特別賞：よくひらめいたで賞(木+風=楓)		
A08	ある嵐の夜	0 pt	10 位	0 sp
		心に吹き付ける冷たい風。悲しみの心情描写として、よく効いています。 冷たい、という体感としてまとめたところが、伝わりやすさですね。 さいごの、いきなりの妻登場は、もっとなだらかにつなげられると良かったか。		
A09	風のない世界	17 pt	1 位	0 sp
		もし○○がなければ、は思考実験の定番。 その、お約束通りに並べて、ネタ尽くして賑やかに。他にないアイデアが抜け出るポイントでしたね。 僅差で首位奪取、おめでとう!! 賞品のメープルクッキーをお茶会でみなさんに分けていた、とてもやさしい作者さんが印象的でした。		

		イチオシフレーズ：「又三郎」「地球に生まれてよかったー」		
A10	無題～十五点のテスト	14 pt	4 位	0 sp
		うわあ、やられたあ！。 ゆらゆらキラキラ、思いっきりきれいな光景を見せておいて、ずどおーん。 瞬間風速のすさまじさにブラボーです。 イチオシフレーズ：「記憶が舞う」		
A11	俺の夏	3 pt	9 位	6 sp
		そんな、当然の（？）ロスト・ラヴ。 浴衣という伏線がミスリードとして効いてますが、種明かし、もう少し自然なセリフだと、なお良かったか。 でも、あっちこっちで議論が盛り上がって最多特別賞タイでしたよ、おめでとう！ 特別賞：男女心（おとめごころ）賞（測り知れないものがあつた） 4 位賞（3 位と競った結果）先輩が女だったらおもしろいで賞（一番議論が盛り上がった）恋愛に性別は関係ないで賞（青春っていいね！）キモイで賞（まさかの男オチ タイトルの位置が低めだから目に入りにくくていい）ホモで賞（最後の2 行がみんなの心をつかみました） イチオシフレーズ：「俺、男に興味ないし・・・」×3 「おう。」		
		0 pt	10 位	1 sp
		ラストは爽やかに風に散った恋。		

A12	風と あなたと	問いかけを重ねることで、せつなさがじわじわ広がってきます。 通り抜けるものとしての風に、さいごで涙を託した終わり方もワザアリで、エメラルド色の、とてもきれいなポエムでした。 特別賞：歌詞賞（歌詞っぽく、がんばった）
-----	---------	---

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	神風特別攻撃隊	11 pt	3 位	1 sp
		こちらも飛行機で発進！ 仕掛けのおもしろさ、それはもちろんなのですが、「どうか家族をお守りください」に強いメッセージ性を読みました。 「祖国を」ではないのですね。そこ重要ポイント。 ブロンズメダルとともに、イチオシフリーズ大賞ゲットです、おめでとう!! 特別賞：哀川翔（賞 男気溢れてるから!!） イチオシフリーズ：「神風特別攻撃隊」× 2 「神よ、どうか家族をお守りください」「風が止んだ」× 2		
B02	風のパワー	3 pt	8 位	0 sp
		実体験でしょうか。 記憶のなかに、ぽつりと存在する風速25メートル体験。そのポイントが効いているので、行ってみたいなあと読み手に思わせてくれます。 最終行、「私は好きだ」と感情で終わらせず、ロジ		

		カルに締めると、もっとその思い出も活きたのでは。		
B03	風ってさあ	9 pt	5 位	7 sp
		小学生に聞かれたら、どう答えますか、お兄ちゃん？ 思いつきっぽくて、でも深い（かも）な、ユーモラスな問いかけでした。 案の定、その勇気をたたえて特別賞の大ラッシュ、ぶっちぎりの最多特別賞でした、おめでとう!! 特別賞：風ではないで賞 川部賞（ぼくが良いと思った） 勇者で賞（レギュラーだったらつよすぎるから） あほっぽいで賞（他の作品がまじめな中、一つだけ浮いてるので賞をあげたかった） 愉快で賞（くだらなさ） インパクト賞（おならのインパクト） ユーモア賞（ユーモアあふれて個性的な作品だから） イチオシフレーズ：「おならって風なのかなあ？」×3 「おなら」		
B04	風が吹くと桶屋が儲かる	14 pt	2 位	2 sp
		ちょっと（いや、かな〜り）ブラックなオチ。 前半、軽妙な会話のやりとりでテンポ良く展開してきて、いきなりブラック独裁者、という落差が、飽きさせないシュールな流れになっています。 しぶくシルバーメダル、おめでとう!! 特別賞：上手い賞（3位の次に人気があったから） 妙な風の吹きまわしで賞（話の流れが変（笑）） イチオシフレーズ：「風に吹かれて気の変った独裁者が、ミサイルのボタンに手を伸ばす」		
		2 pt	11 位	0 sp

B05	人格の形成	「空気のメモ用紙」というオリジナルな比喻が、とてもいいな、と読みました。 ただの自然現象が、人の思いを乗せる「器」に変わってゆく感じ。うまくつかまえてます。			
B06	少年時代	<table><tr><td>2 pt</td><td>11 位</td><td>0 sp</td></tr></table> 主人公は「せんぷうき」さん。 回しても、ぬる〜い風が来るばかり。 静けさのなかでの暑さ、けだるさが漂ってきます。 思い出の1シーンだったでしょうか？	2 pt	11 位	0 sp
2 pt	11 位	0 sp			
B07	風よ、吹け！	<table><tr><td>7 pt</td><td>7 位</td><td>2 sp</td></tr></table> 未来へと、たくましく帆を上げて。 さあ行くぞ！感が、びしびし伝わってきます。 敢えて、具体的な目標を掲げていないところも、ピュアで清冽な印象でした。777おめでとう！ 特別賞：集英社賞（ジャンプのワンピースにこんな場面があったような。） ルフィで賞（ワンピースっぽいから） イチオシフレーズ：「風よ、吹け！」×2	7 pt	7 位	2 sp
7 pt	7 位	2 sp			
B08	ある日の昼下がり	<table><tr><td>10 pt</td><td>4 位</td><td>2 sp</td></tr></table> 「空はキャンバス（←注意!）」という比喻が効いてました。 空の雲、海の波、なんだかずーっと眺めていたいもの。その無心な気持ちを「幼さ」へとつなげて表現したことで、ふうわりメルヘンテイストの仕上がりです。 特別賞：ミスチルで賞（ミスチルflavorがする!!） どんだけひまなんで賞（ベランダでぼーっとしてるから。でもネトゲ廃人よりはましだよね）	10 pt	4 位	2 sp
10 pt	4 位	2 sp			

B09	「かぜ」	9 pt	5 位	0 sp
		子どもって無邪気で残酷。 その両面を会話であざやかにあぶりだしていただきました。 読後感、せつないですね。 イチオシフレーズ：「本当！ゼッタイだよ、ゼッタイ！やくそくだよ！」×2		
B10	百面相	3 pt	8 位	0 sp
		音の多様さに耳を澄ませる展開にしたおかげで、感性のゆたかさが伝わってきます。 ラスト、聴覚の世界を視覚的な「顔」にたとえるところが、よりスムーズだと良かったか。		
B11	恋風	3 pt	8 位	0 sp
		ちょうど、今の季節の気分。 爽やかに吹き抜ける初夏の風さながら。 ただ、「気持ちよさ」をそう書かずに表現するの が、ポエムの使命でもあるので、よりユニークな表現を探してみるとよいのでは。		
B12	風の贈り物	17 pt	1 位	1 sp
		香り、音とつなげて、人生そのものが風頼み、風まかせなたんぽぽの一生をさらりと。 人、ではない視点に立ったとき、同じ自然現象でもずいぶん変わるなあと、小さなたんぽぽになった気分 に誘ってくれる、絵本気分な今週の読み納めでした。 風吹く野原にほっこり咲いたゴールドメダル、おめでとう!!! 特別賞：びっくり箱賞（伏線のはりかたに賛否両		

		論！)
--	--	-----